

○ 国立大学法人筑波技術大学年俸制業績評価に関する規程

〔平成27年3月18日〕
規程第5号

最終改正 平成29年2月22日規程第4号

国立大学法人筑波技術大学年俸制業績評価に関する規程

(趣旨)

第1条 国立大学法人筑波技術大学年俸制適用職員給与規程(以下「年俸制給与規程」という。)

第4条第3項に規定する基本年俸の改定及び第8条第1項に規定する業績手当決定のため、年俸制給与規程の適用者(以下、「年俸制適用職員」という。)の業績評価に関する事項は、この規程の定めるところによる。

(評価の対象者)

第2条 評価の対象となる年俸制適用職員は、年俸制給与規程第2条第1号及び第2号に掲げる職員とする。

(実施内容)

第3条 実施する業績評価は、主要評価項目(別記様式第1)による教育研究等の活動内容及び面談にて行う。

(実施体制)

第4条 業績評価を実施するため、本学に年俸制教員評価実施委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2 業績評価は、委員会の議を経て学長が行う。

(委員会の組織)

第4条の2 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 産業技術学部長及び保健科学部長
- (4) 障害者高等教育研究支援センター長

2 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

3 委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ、議事を開くことができない。

(評価期間)

第5条 評価期間は1年間で、年度単位で行い、前年度分の活動について毎年度一斉に実施する。評価実施年度の4月1日時点において、本学の年俸制適用職員に採用されてから1年を経過していない者であっても評価を行うこととする。

(評価の区分)

第6条 業績評価の区分は6段階とし、別表第1のとおりとする。

(結果の通知)

第7条 業績評価を行ったときは、その結果を対象者に通知する。

(不服申し立て)

第8条 前条の評価結果を受けた者で、評価結果に関して不服がある場合は、学長に申し立てすることができる。

2 学長は、前項の申し立てについて基づき審議し、結果を不服申立人に通知する。

(基本年俸の改定)

第9条 学長は、評価結果を踏まえ、基本年俸の改定が必要と判断した場合は、当該年俸制適用職員の基本年俸を増額又は減額改定することができる。

(その他)

第10条 この規程に定めるもののほか、業績評価に関し必要な事項は、学長が定める。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

別記様式第1 (第3条関係)

主要評価項目 (平成 年度)

所属() 職名() 氏名()

I. 学部：昨年度の実際に開講した学部の授業等 (大学院は除く)

<年間平均週コマ数>

- ・週1回1時限の授業 : 通年で1.0コマ
: 1学期, または2学期のみで0.5コマ
オムニバスや複数教員担当の場合は, コマ数に分担の割合を乗ずる。
- ・卒業研究指導(4年次のみ) : 2.0コマ (1名の場合), 3.0 (2名以上), 3名以上は1名につき0.5を加算する【3.5 (3名), 4.0 (4名)】
- ・医療センターの診療業務 : 週1回(半日)で2.0コマ(4年次の欄に記入)

| 担当している授業科目の名 (クラスの数が増える場合は曜日・時限も記入: 例 月1, 金2) | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | 単位数 | 分担の割合 | クラスの数 | 年間平均週コマ数 |
|---|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|-------|-------|----------|
| | I | II | I | II | I | II | I | II | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 1～4年次下部欄の数字 : 学期毎の週あたりの時限数を記入 クラスの数 : 同一科目での週あたりの授業回数を記入 | | | | | | | | | | | 合計 | |

II. 大学院：今年度の大学院の授業、研究指導等 (実際に履修学生がいる場合のみ記載)

| 担当している授業科目の名 (実際に履修学生がいる開講している授業のみ記載すること) | 1年次 | | 2年次 | | 長期履修等 | | 単位数 | 分担の割合 | 年間平均週コマ数 | |
|--|-----|----|-----|----|-------|----|-----|-------|----------|--|
| | I | II | I | II | I | II | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| *長期履修等は、3年以上在籍者について記載 *記載の仕方は学部と同様 *研究指導に関する授業項目 (〇〇学特別研究1・2), コマ数は次の項目に記載する | | | | | | | | | 合計 | |

| | | | |
|---------------------------|-----|------|-------|
| 大学院:主研究指導 (〇〇学特別研究1・2) | 学生数 | 学生氏名 | 年間コマ数 |
| | 〇名 | | |

- ・大学院研究指導(主指導教員のみ): 2.5コマ(1名), 4.0(2名), 3名以上は、1名につき1コマを加算する【5.0(3名), 6.0(4名)】

III. 昨年度の業績(著書, 原著学術論文)で特筆すべきもの

- ・原著学術論文は, 査読論文のみ記載すること。
- ・英文原著論文の場合, Impact Factor, 被引用件数を記載してください。
 ※ Journal の Impact Factor (トムソン・ロイター社) (あるいは無料サイト SCImago Journal & Country Rank の HP による Cites/Doc. (2years) で代用可;
<http://www.scimagojr.com/index.php>) を論文毎に記入すること。
 ※ 論文の被引用数(トムソン・ロイター社など検索源は任意) (検索例: 無料サイト Google Scholar での検索でも可, <http://scholar.google.co.jp/>) を論文毎に記入すること。

IV. 今年度, 学内の委員会(または室)の委員(室員) 【担当している委員会(室)名】

| | |
|--|--|
| | |
| | |

V. 昨年度, 本学の公開講座やシンポジウムの実施, または特別経費等による事業, 海外派遣事業(引率)等

【参画した事業名等】

| |
|--|
| |
| |
| |

VI. ①昨年度, 科学研究費助成事業に申請

【申請した科研費の研究課題名等】

| 研究種目 | 研究課題名 | 代表, 分担の別 |
|------|-------|----------|
| | | |

②現在, 科学研究費補助金(継続課題を含む)に採択

【採択された科研費の研究課題名等】

| 研究種目 | 研究課題名 | 新規, 継続の別 | 代表, 分担の別 |
|------|-------|----------|----------|
| | | | |

VIII. その他の学内業務, 学会受賞, 社会・地域貢献等で特筆すべきもの

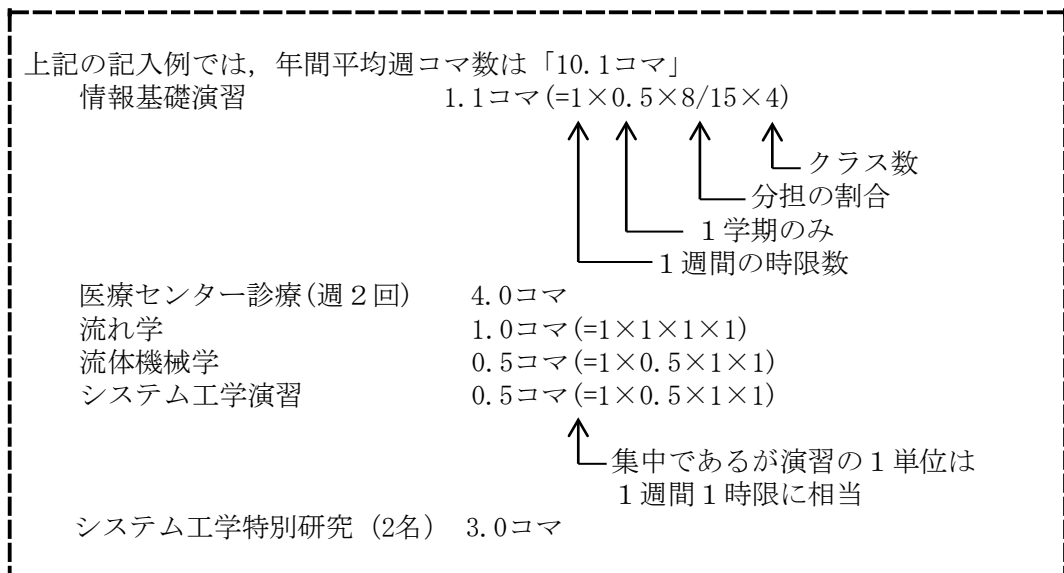
年間平均週コマ数の記入例

<年間平均週コマ数>

- 週1回1時限の授業 : 通年で1.0コマ
: 1学期, または2学期のみで0.5コマ
オムニバスや複数教員担当の場合は, コマ数に分担の割合を乗ずる。
- 卒業研究指導(4年次のみ) : 2.0コマ(1名の場合), 3.0(2名以上), 3名以上は1名につき0.5を加算する【3.5(3名), 4.0(4名)】
- 医療センターの診療業務 : 週1回(半日)で2.0コマ(4年次の欄に記入)

| 担当している授業科目の名 (クラスの数が増える場合は曜日・時限も記入: 例 月1, 金2) | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | 単位数 | 分担の割合 | クラスの数 | 年間平均週コマ数 |
|---|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|-------|-------|----------|
| | I | II | I | II | I | II | I | II | | | | |
| 情報基礎演習 (月1, 月2, 木1, 金2) | 1 | | | | | | | | 1 | 8/15 | 4 | 1.1 |
| 医療センター診療(週2回) | | | | | | | 4 | 4 | - | 1 | - | 4.0 |
| 流れ学 | | | | | 1 | 1 | | | 4 | 1 | 1 | 1.0 |
| 流体機械学 | | | | | | | 1 | | 2 | 1 | 1 | 0.5 |
| システム工学演習 | | | | | | 集中 | | | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| システム工学特別研究 | | | | | | | 2 | 2 | 6 | 1 | 2 | 3.0 |
| 1~4年次下部欄の数字 : 学期毎の週あたりの時限数を記入 クラスの数 : 同一科目での週あたりの授業回数を記入 | | | | | | | | | | | 合計 | 10.1 |

- 卒業研究指導 : 2.0コマ(1名の場合), 3.0(2名の場合), 3.5(3名)
(指導する学生の人数はクラスの数に記載すること)



別表第1(第6条関係)

| 区分 | 判定の基準 |
|----|--------------|
| SS | 基準を大きく上回っていた |
| S | 基準を上回っていた |
| A+ | 基準をやや上回っていた |
| A | 基準の活動内容であった |
| B | 基準をやや下回っていた |
| C | 基準を下回っていた |